人と仕事研究所

2018年7月19日　発表

子供のキャリア観に関する調査

（小学校5-6年生編）

株式会社アイデム

〒160-0022　東京都新宿区新宿1-4-10　アイデム本社ビル

お問い合わせ
広報担当　／　望月・栗木　　電話　03-5269-8780　　kouhousitu@aidem.co.jp
調査担当　／　岸川・古橋

(c) AIDEM Inc.

調 査 概 要

調査目的　親の働く姿と子供のキャリア観への影響について調査する

調査対象　小学校5年生または6年生の子供を持つ男女で、子供と一緒にアンケート回答が可能な者

調査方法　インターネット調査

調査期間　2018年6月14日～17日

有効回答　1308名

回答者内訳

大人/性別	n	%
男性（父親）	769	58.8
女性（母親）	539	41.2
計	1308	100.0

大人/婚姻状況	n	%
既婚	1243	95.0
未婚・離別・死別	65	5.0
計	1308	100.0

子供/性別	n	%
男子	680	52.0
女子	628	48.0
計	1308	100.0

大人/就労状況	父親		母親	
	n	%	n	%
正社員	1085	86.2	223	17.3
アルバイト・パート	14	1.1	494	38.2
契約・嘱託社員	21	1.7	36	2.8
派遣社員	5	0.4	22	1.7
その他	12	1.0	5	0.4
自営業・フリーランス等の個人事業主	108	8.6	36	2.8
無職	14	1.1	476	36.8
計	1259	100.0	1292	100.0

父母の就労状況	n	%
共働き家庭Ａ（父母とも正社員または自営業）	224	17.1
共働き家庭Ｂ（父母の1人以上が正社員・自営業以外の働き方）	529	40.4
専業主婦/夫 家庭（父母のいずれかが無職）	490	37.5
シングル家庭（父または母が雇用形態にかかわらず有業）	65	5.0
計	1308	100.0

留意事項

●本調査における「子供調査」は、回答者（大人）による代理回答である。
回答者（大人）には、調査時に同席している子供に質問をし、その回答を聞いて記入するよう指示している。

●調査票では、基本的に「父親」「母親」という表記をしていない。各設問においては「あなた（回答者本人）」「配偶者（回答者の配偶者）」の項目を設けて質問し、それぞれの回答を回答者の性別によって以下のように分類・再集計し、「父親」「母親」のデータを算出している。
なお、配偶者については既婚の回答者のみに聞いている。

父親：　[A：男性回答者における「あなた」の項目の回答] ＋　[D：女性回答者における「配偶者」の項目の回答]
母親：　[B：男性回答者における「配偶者」の項目の回答] ＋　[C：女性回答者における「あなた」の項目の回答]

●就労状況が「無職」の場合でも、家事・育児など「生活の中で担当しているもの」を行っていることを「働く」または「仕事」としている。

●本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合がある。

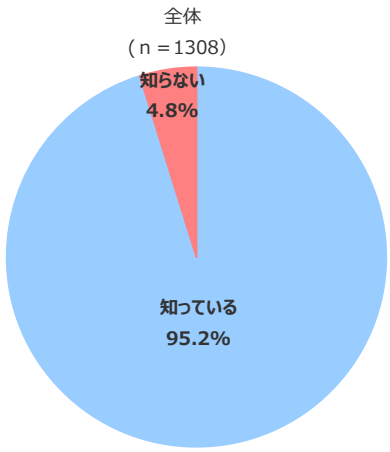
●「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示す。

(c) AIDEM Inc.

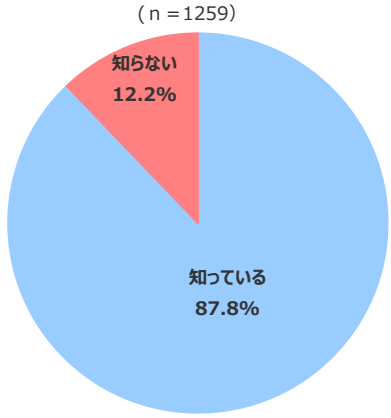
1 子供調査 親の仕事を知っているか

小学校5-6年生に親がどのような仕事をしているか知っているか聞いたところ、父親と母親のいずれか一方でもその仕事を「知っている」子供が95.2%に上った（図1.1）。父親の仕事については、87.8%が「知っている」（図1.2）、母親の仕事については92.0%が「知っている」と回答した（図1.3）。

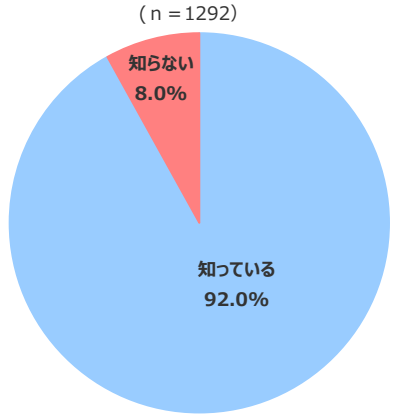
【図1.1】親の仕事を知っているか



【図1.2】父親の仕事を知っているか



【図1.3】母親の仕事を知っているか

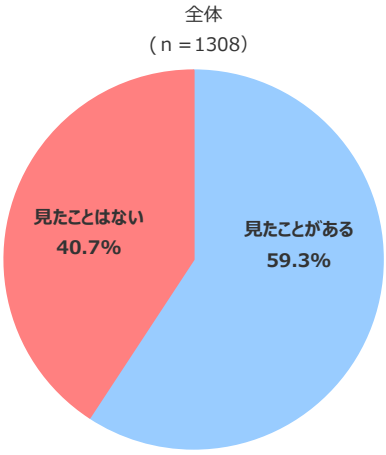


2 子供調査 親の働く姿を見たことがあるか

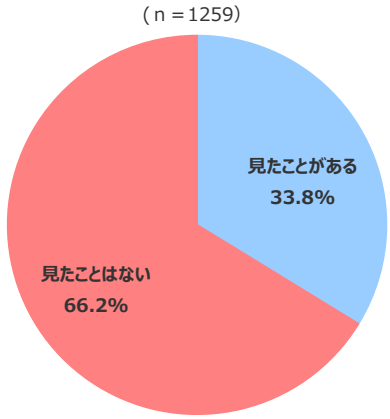
小学校5-6年生に親が働く姿を見たことがあるかを聞いた。父親と母親のいずれか一方でも働く姿を「見たことがある」子供は59.3%だった（図2.1）。父親の働く姿を見たことがある子供は33.8%（図2.2）、母親の働く姿を「見たことがある」子供は49.3%となり（図2.3）、父親の働く姿を見たことがある子供の方が割合が低かった。

親の仕事を「知っている」子供は9割前後にも上ったが、その働く姿を実際に「見たことがある」子供は、そこまで多くはないようだ。

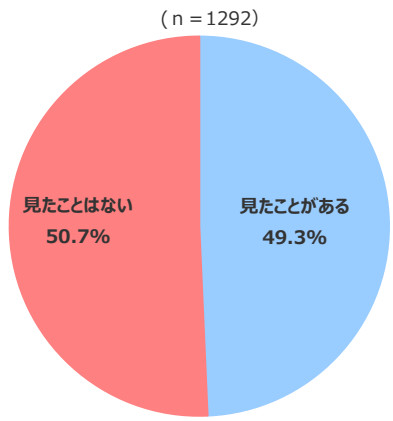
【図2.1】親の働く姿を見たことがあるか



【図2.2】父親の働く姿を見たことがあるか



【図2.3】母親の働く姿を見たことがあるか



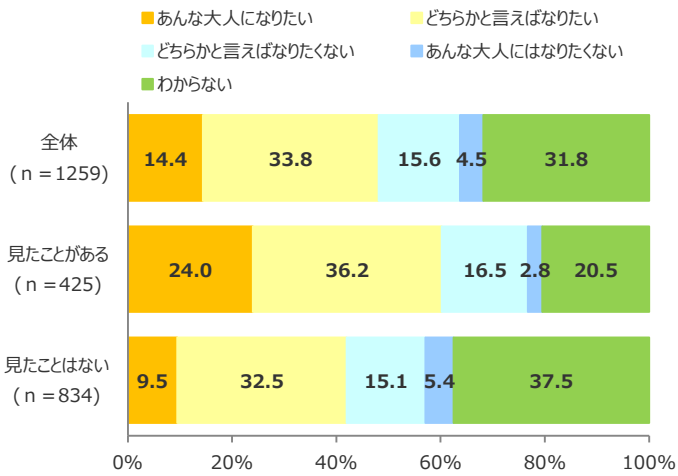
(c) AIDEM Inc.

3　子供調査　働く親への憧れ

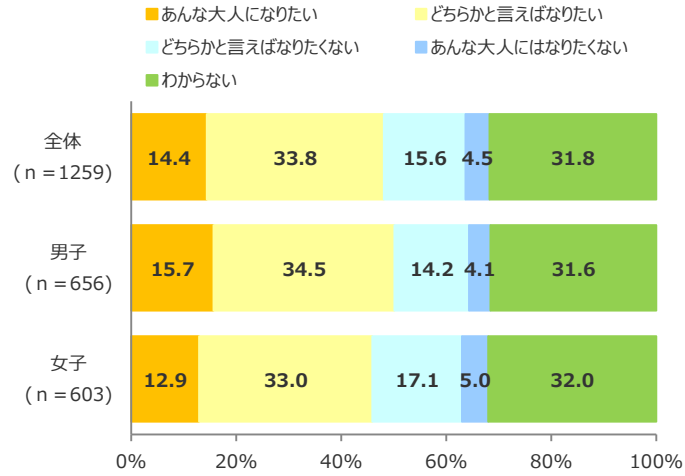
小学校5-6年生に、働いている親を見てどのように感じているかを聞いた。
父親に対して、「あんな大人になりたい（「どちらかと言えばなりたい」も含む、以下同）」と憧れを持っている割合は、48.2%に上った。「　2　親の働く姿を見たことがあるか」との関係を見ると、父親の働く姿を「見たことがある」子供は、「あんな大人になりたい」が60.2%と「見たことがない」子供よりも18.2ポイント高くなっていた。さらに、「わからない」という曖昧な回答者の割合も低い（図3.1）。
子供の性別で見ると、女子よりも男子の方が「あんな大人になりたい」の割合が高く、同性ゆえかその憧れも強いようだ（図3.2）。

母親に対して、「あんな大人になりたい」と憧れを持っている割合は、48.8%だった。「　2　親の働く姿を見たことがあるか」との関係を見ると、母親の働く姿を「見たことがある」子供は、「あんな大人になりたい」が57.2%に上り、「見たことがない」子供よりも16.6ポイント高くなっていた。父親に対する結果と同様に、「わからない」の回答割合も低くなっていた（図3.3）。
子供の性別で見ると、男子よりも女子の方が「あんな大人になりたい」と感じている割合が高い。父親に対する「あんな大人になりたい」の回答割合の男女差が4.3ポイントだったのに対し、母親の同項目の男女差は12.4ポイントと大きくなっており、男子の父親に対する憧れよりも、女子の母親に対する憧れの方が強い（図3.4）。

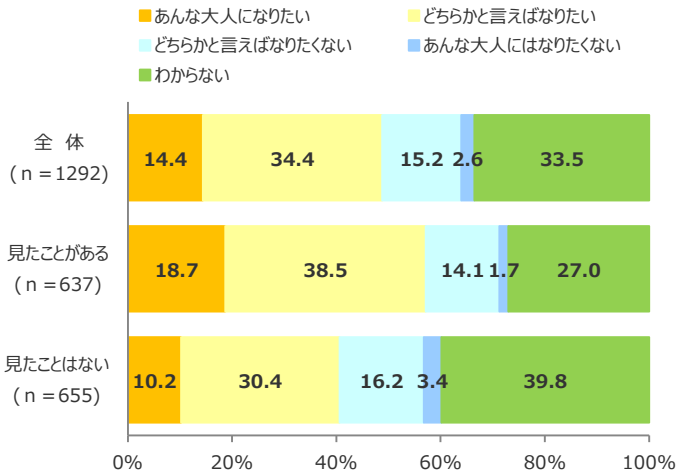
【図3.1】働いている父親を見てどのように感じているか
：父親の働く姿を見たことがあるか別



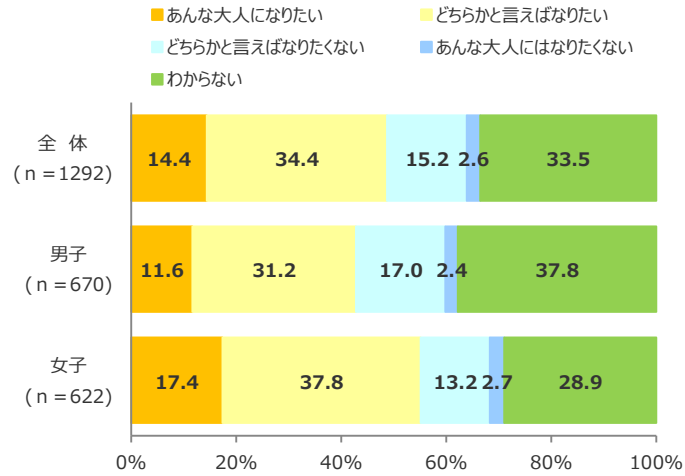
【図3.2】働いている父親を見てどのように感じているか
：子供の性別



【図3.3】働いている母親を見てどのように感じているか
：母親の働く姿を見たことがあるか別



【図3.4】働いている母親を見てどのように感じているか
：子供の性別



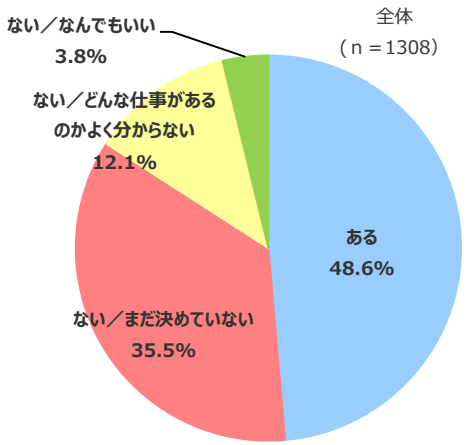
(c) AIDEM Inc.

4　子供調査　将来の夢はあるか

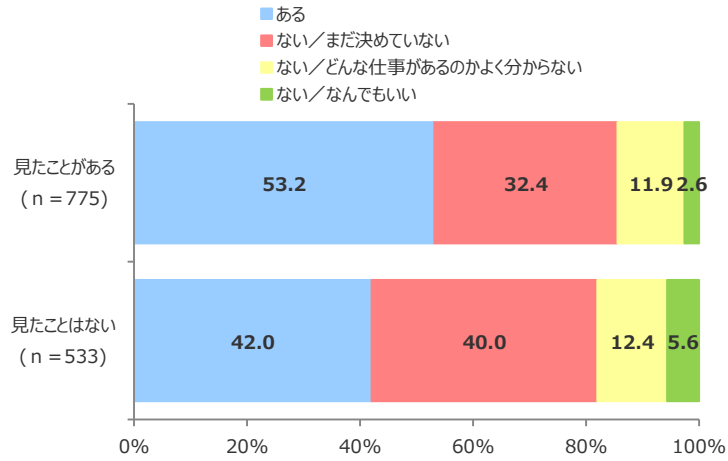
小学校5-6年生に将来なりたい職業があるかを聞くと、「ある」と回答した子供は48.6%で半数に満たなかった（図4.1）。
「　2　親の働く姿を見たことがあるか」との関係を見ると、父親と母親のいずれか一方でも働く姿を「見たことがある」子供は、将来なりたい職業が「ある」と回答した割合が53.2%に上り、「見たことがない」の42.0%を11.2ポイント上回っていた（図4.2）。

さらに、将来なりたい職業が「ある」と回答した子供に、なぜその職業に就きたいのか理由を聞くと、1位「好きなことだから」53.9%、2位「かっこいい／かわいいから」30.8%、3位「社会や人の役に立ちたいから」20.3%だった（図4.3）。
また、将来なりたい職業に就くために何か工夫や努力をしている子供は、43.1%だった（図4.4）。

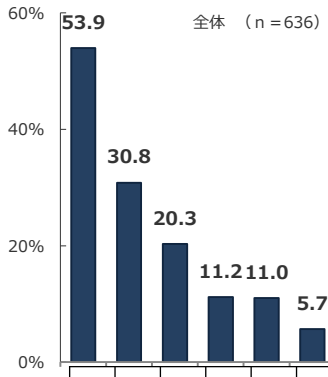
【図4.1】将来なりたい職業はあるか



【図4.2】将来なりたい職業はあるか：親の働く姿を見たことがあるか別



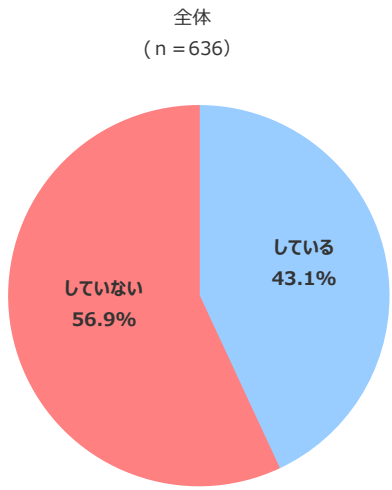
【図4.3】その職業に将来なりたいと思う理由



n=30以上で
- 全体＋10pt以上
- 全体＋5pt以上
- 全体－5pt以下
- 全体－10pt以下

（n＝）		好きなことだから	かっこいい／かわいいから	社会や人の役に立ちたいから	お金を稼げそうだから	得意なことだから	習っていることだから	有名になりたいから	親がしているから	安定していそうだから	その他	平均回答個数（個）
全　体(n＝636)		**53.9**	**30.8**	**20.3**	**11.2**	**11.0**	**5.7**	**4.4**	**4.1**	**3.9**	**5.3**	**1.5**
性別 子供	男子（n＝299）	51.2	37.1	18.1	15.7	11.7	6.7	7.7	4.7	4.3	3.3	1.6
	女子（n＝337）	56.4	25.2	22.3	7.1	10.4	4.7	1.5	3.6	3.6	7.1	1.4

【図4.4】将来なりたい職業に就くために努力しているか



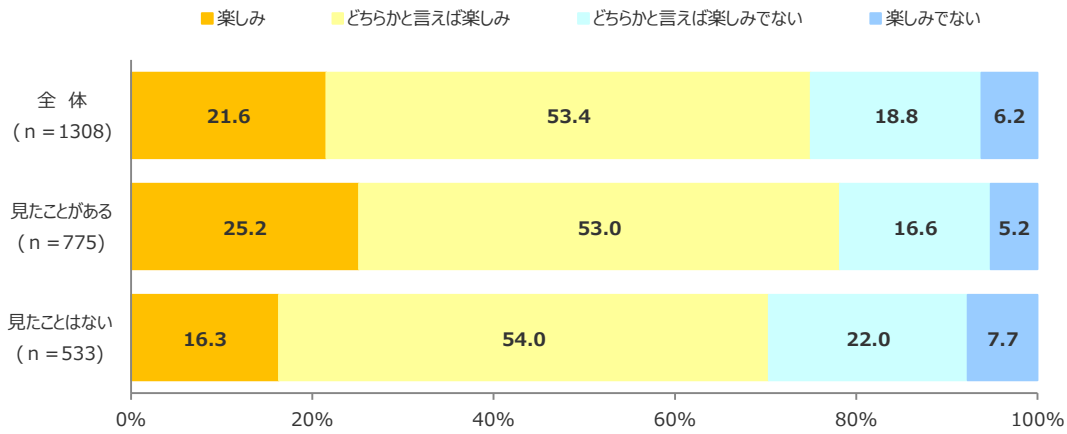
(c) AIDEM Inc.

5 子供調査 将来働くことは楽しみか

小学校5-6年生に将来働くことを楽しみに感じているかを聞いた。結果は、「楽しみ（「どちらかと言えば楽しみ」も含む、以下同）」が、75.0%に上った。

「 2 親の働く姿を見たことがあるか」との関係を見ると、父親と母親のいずれか一方でも働く姿を「見たことがある」子供は、「楽しみ」と回答した割合が78.2%となり、親の働く姿を「見たことがない」子供よりも7.9ポイント高くなっていた（図5）。

【図5】将来働くことを楽しみに感じているか：親の働く姿を見たことがあるか別



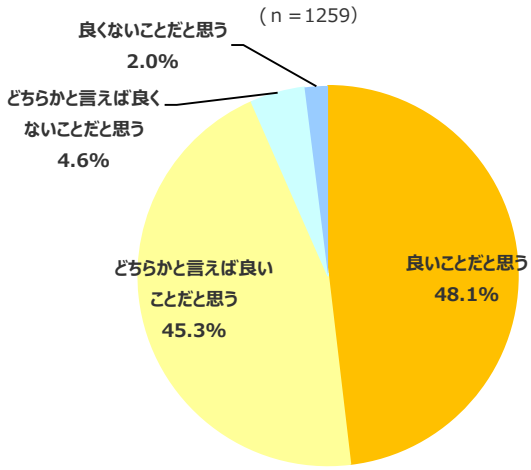
(c) AIDEM Inc.

6 大人調査 親の働く姿を見せることの是非

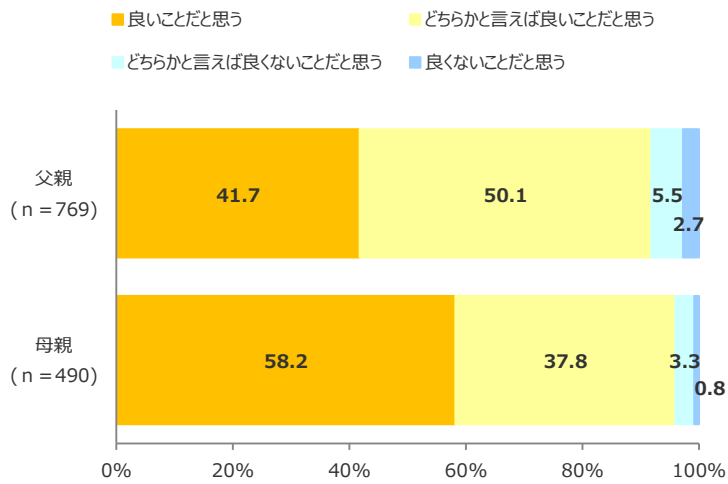
小学校5-6年生の子供を持つ男女に、子供に親の働く姿を見せることは良いことだと思うかを聞いた。
子供に、父親の働く姿を見せることについて「良いことだと思う」が48.1%、「どちらかと言えば良いことだと思う」が45.3%で合わせて93.4%が肯定的に捉えていた（図6.1）。男性回答者を父親、女性回答者を母親として父母別の結果を見ると、「良いことだと思う」の割合は母親58.2%、父親41.7%となっており、母親の方がより強い肯定感がある（図6.2）。

子供に母親の働く姿を見せることについては、「良いことだと思う」49.0%、「どちらかと言えば良いことだと思う」45.0%で、肯定的な意見が計94.0%に上った（図6.3）。父母別では、図6.2と同様に、母親の方が「良いことだと思う」の回答割合が高くなっていた（図6.4）。

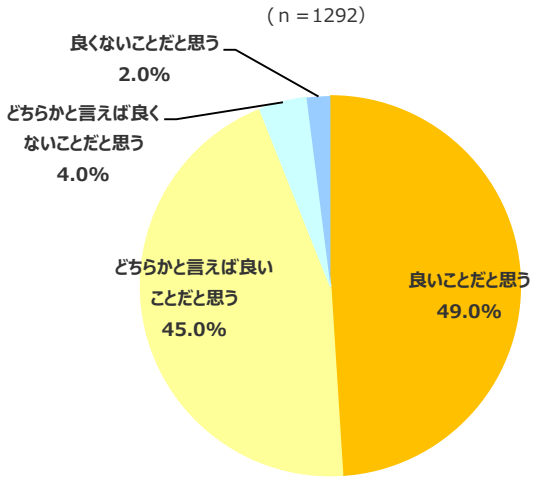
【図6.1】父親の働く姿を見せることは良いことだと思うか



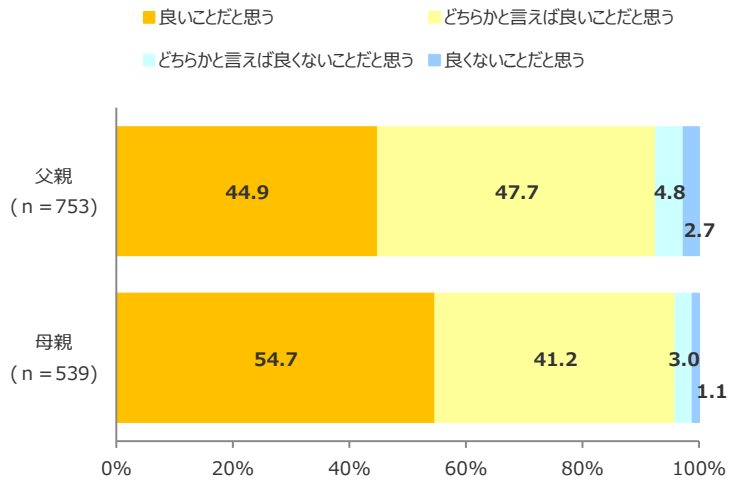
【図6.2】父親の働く姿を見せることは良いことだと思うか：父母別



【図6.3】母親の働く姿を見せることは良いことだと思うか



【図6.4】母親の働く姿を見せることは良いことだと思うか：父母別



(c) AIDEM Inc.